

授業改善推進プラン<図画工作科>

図画工作科における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用具や材料に関する知識や経験を基に、適切に扱ったり総合的に生かしながら表現に生かしたりすることができる。 ○色や形に対する感覚が豊かである。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○与えられた題材に対し自分なりの主題を見つけ、どのように表現するかを考えることができる。 ○材料の特徴や偶然の表現などから発想を生み出したり、見たことや想像したことを表現に結び付けたりすることができる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つくりだす喜びを味わいながら進んで活動に取り組もうとしている。 	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主に高学年の児童について、動きや奥行き、バランスなどを意識して工夫することに難しさを感じている児童が多い。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●与えられた題材や環境に対して「自分ならこうする」という創造性に富んだ向き合い方ができる児童が更に増えるとよい。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●粘り強さや、自己を振り返ってそれからの活動に生かしていくという点において弱さが見られる。

<図画工作科の授業改善策>

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材内における、造形的な諸感覚を児童に示し、鑑賞活動などにおいて価値付けをしていく。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が発想を掻き立てられるような題材、環境、導入の工夫を行う。 ・題材の余地の広い題材と狭い題材を計画的に設定することにより、思考力を育むようにする。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時の鑑賞活動の充実により、造形活動を深めるモチベーションを生み出していく。 ・作品を紹介しあったり、展示する機会を設けたりすることで他者と自分の作品の良さや工夫に気付かせる。
--